

プロジェクト写真



(建物内部の写真は掲載不許可のため掲載できません)

建築概要

施設用途：研修所
建築地：兵庫県川西市
竣工：2018年2月
規模：W(CLT)+RC造 地下1階,地上3階
建築面積：約329m²：
延床面積：約1,209m²
木材使用量：CLT 430m³

取組と設計趣旨

地上躯体すべてに国産杉材のCLT（直交集成板）パネル工法を採用し、外装にも地域産の国産材を用いることで、緑豊かな自然景観と調和する建築であること、また人材育成、技術伝承の場である研修所として、「匠の心＝棟梁精神」を受け継ぐ木造建築の実現を目指した。天井・内壁の大部分をCLTの素地仕上げとし、木の温もりに包まれた空間を実現している。CLT壁パネルの梁形や垂壁をなくすことで、床から天井までの大開口を実現し、「清和台の森」に開かれた宿泊室としている。また、CLT床パネルをはね出すことで、大開口への日射を遮る庇とし、宿泊室内外部に連続するCLT天井を実現するとともに、外観に陰翳のある表情をつくり出した。

二重床内に設備を集約し、内装に接合金物が一切見えないよう工夫することで、天井・内壁の大部分をCLTの素地仕上げとし、木の温もりに包まれた空間を実現した。

木材の供給

CLTパネルは熊本県産の杉材を、外装材には奈良県産の杉材を使い、緑が豊富な周辺環境との調和を図っている。

材種：床・壁CLTパネル：国産スギ

外装羽目板：国産スギ

内装羽目板：国産スギ（準不燃）

生産・流通：CLT調達：宮崎県、加工：岡山県

羽目板調達・加工：奈良県

構法：CLTパネル工法

敷地条件：市街化調整区域 防火地域指定なし

耐火性能：燃えしろ設計（一部、防火被服設計）による1時間準耐火

2方向はね出し床パネルは強軸方向（120mm、24mm×5プライ）と弱軸方向（90mm、防火被覆材40mm+合板床材）の2枚のパネルを重ね、総厚を一般部床パネルと同じ210mmとしている。強軸パネル下面の60mm分は燃えしろにあたる。



設計者

意匠設計、構造設計：竹中工務店

アクセス

住所：
〒
ルート
〒666-0144
兵庫県川西市柳谷
隠場41-1

